



2023年7月

# 使用上の注意改訂のお知らせ

高血圧症・狭心症治療薬  
持続性 Ca 拮抗薬  
日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠

**アムロジピンOD錠2.5mg「科研」**  
**アムロジピンOD錠5mg「科研」**  
**アムロジピンOD錠10mg「科研」**

Amlodipine Besilate O.D. Tablets 「KAKEN」

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂しましたので、お知らせいたします。併せて「医療用医薬品の電子化された添付文書の記載要領について」（令和3年6月11日付薬生発0611第1号厚生労働省医薬・生活衛生局長通知）に基づく記載様式の変更も行いました。今後のご使用に際しましては、本改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

## ■改訂内容（\_\_\_\_\_：追記部分）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 (省略、変更なし)			3. 相互作用 (省略)		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
降圧作用を有する薬剤	(省略、変更なし)		降圧作用を有する薬剤	(省略)	
CYP3A4 阻害剤 エリスロマイシン ジルチアゼム リトナビル ニルマトレルビル・リトナビル イトラコナゾール等	エリスロマイシン及びジルチアゼムとの併用により、本剤の血中濃度が上昇したとの報告がある。	本剤の代謝が競合的に阻害される可能性が考えられる。	CYP3A4 阻害剤 エリスロマイシン ジルチアゼム リトナビル イトラコナゾール等	エリスロマイシン及びジルチアゼムとの併用により、本剤の血中濃度が上昇したとの報告がある。	本剤の代謝が競合的に阻害される可能性が考えられる。
CYP3A4 誘導剤 リファンピシン等	(省略、変更なし)		CYP3A4 誘導剤 リファンピシン等	(省略)	

## ■改訂理由

同一成分薬の使用上の注意の改訂に伴い、自主改訂により「併用注意」の項を改訂いたしました。

- ・ 今回の改訂内容は、「医薬品安全対策情報（DSU）No.319」（2023年8月）に掲載されます。
- ・ 最新の電子化された添付文書は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）及び弊社ホームページ（<https://www.kaken.co.jp/medical/index.html>）でご覧いただくことができます。また、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ<sup>®</sup>」<sup>てんぶん</sup>を利用し、GS1バーコードを読み取ることでご覧いただくこともできます。

アムロジピンOD錠「科研」のGS1バーコード



(01)14987042352508



発売元

科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号

製造販売元

大興製薬株式会社

埼玉県川越市下赤坂560番地1